



# ひがしっ子

学校通信 第16号  
令和3年11月15日(月)  
久留米市立東国分小学校  
校長 秀島 一生  
児童数 637名

## 少しずつもどる教育活動

久留米市では、新型コロナウイルスの感染拡大も落ち着きを見せており、少しずつですが、教育活動ももどりつつあります。

19日(金)、20日(土)には、6年生の修学旅行を行い、12月2日(木)、3日(金)には、5年生自然体験教室を行います。また、家庭科の調理実習や各学年においても社会見学も行うようになり、子どもたちも教室や校内だけでの学習ではなく、体験活動や楽しみを含めた学習が展開できるようになってきました。



3年社会見学「消防署見学」

まだまだ、「手洗い、マスク、3密回避」「給食の黙食」は続きますが、子どもたちの学びへの意欲付けができるように、学習内容や学習の進め方を工夫していきます。

## 保健室横少人数教室をトイレに改築 及び 西側トイレの解体

南校舎西側のトイレの老朽化により、保健室横の少人数教室のトイレへの改築と西側トイレの解体が行われます。工期は、今週より始まり、3月までかかる予定です。西側トイレは老朽化だけでなく、校舎外にあり、衛生面、安全面などでも課題がありました。そのため、改修ではなく、校舎内にトイレを新たに設置するようになりました。校舎内へのトイレの設置により、トイレの数や洋式便座の設置など子どもたちも使いやすくなると思います。

また、工事に伴い、仮設トイレの設置や校舎西側付近の通行制限、南運動場の鉄棒横に現場事務所の設置など、少し不便な所が出てきますが、工事車両の出入りなど、子どもたちが安全に過ごせるよう配慮をしていきます。

どうぞ、ご協力をお願いいたします。



## みんながわかる授業を目指して

運動会や人権文化祭といった大きな学校行事も終わり、2学期も残り半分となりました。これからは、子どもたちの理解が深まる授業づくりの工夫を推進していきます。そのために、お互いの授業を公開し合ったり、授業実践を交流したりと職員の研修を充実させ、みんながわかる授業について考えていきます。

例えば、4年生の算数では、「面積」の学習において、一人一人が実感を持った理解ができるように、一人一人に具体物を使って、図形を分割したり、合わせたりして、面積を求める方法を自分のノートにまとめていました。そして、隣の友達やグループで意見を出し合い、より簡単に面積を求める方法を導き出していました。互いの考えを認め合いながら、よりよい考えを作る姿が見られました。



自分の考えをノートにまとめる

このように、学習で理解したことをだれかに伝えることで、自分の学びを確かめ、定着が図れると考えています。



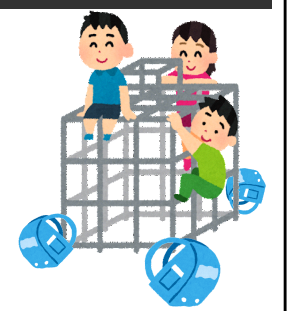
みんなで考えを深める

また、東っ子タイムを再開し、プリントやドリルを使って、学んだことの定着を図ったり、難しかった内容についての補充を行ったりしていきます。

これらの授業づくりを職員みんなで協議・研修していくために、11月は、職員研修による子どもたちの早帰りの日があります。どうぞ、ご理解とご協力をお願いいたします。

## 下校途中での様子、休日の過ごし方から

秋の深まりとともに、日が暮れるのも早くなりました。子どもたちは、低学年は、3時過ぎから下校が始まります。下校後の遊ぶ時間も短くなってきたせいも、学校帰りに友達の家に寄ったり、公園で遊んだりしている様子があるようです。先日、学校でも子どもたちに下校後の遊び方の指導をしています。各ご家庭でも、子どもたちの下校の仕方について話をしていたと思います。



また、休日でも友達の家遊びに行き、友達の家を勝手に触ったり、部屋に入ったりしているという話も聞きます。友達の家遊びに行ったときのマナーについても、ご家庭でご確認下さい。

仲のいい友達同士でも「親しき仲にも礼儀あり」といった考え方の大切さに気づかせたいものです。